

2021年 (令和3年)

11月 会場・教室案内

火曜は **けやきプラザ教室**、金曜は **湖北駅前教室(北口)**と **湖北台教室(南口)**、
水曜は **天王台教室**。月曜、木曜は「**マナビトラボ**」(我孫子市子ども学習支援教室)

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

祝日の3日、23日は休講です。



くプラス・ワンのぼり旗を作りました。
左が湖北駅前教室、右は天王台教室です。
旗を見て、来てくれる人がいるといいですね>

外国人の子の日本語学習は・・・

日本へ来て最初に都心の“日本語学校”へ通っていたが、市内で勉強も教えてくれる所を探している、と私たちを訪ねてくる少年がいました。彼は中学を卒業して2年ほど遅れたが、高校に入って勉強したい、と高校受験の勉強を私たちと1年間行い合格しました。その後も学校が終わるとプラス・ワンに通い続け、大学で経済を勉強したいと大学受験に挑戦し、外国人枠で入学することができました。

またある母親は7年前に来日し、子どもが5人いて、長男が中学へ入り、彼が日本語で話はできても学校の勉強がほとんどわからないと相談に来ました。本人は勉強のやる気をなくしていましたが、一緒にゆっくり必要な科目の勉強を行うにつれて毎週通って来るようになりました。そして徐々に授業について行けるようになり、成績が上がったと報告に来ました。

私は学校の「取り出し授業」のことは耳にしますが、外国籍の子どもたちの「わからない」授業に一体どのように対応しているのか疑問を感じました。

国際交流協会の紹介で来たある父親は、日本語も達者で長年単身で生活し、数年前に家族を呼び一緒に暮らすようになりました。そしてご家族が日本語で生活できるようにしたいと、中学生の子の日本語の相談で、私たちを訪ねてきました。子どももコロナ下で姿を見ないうちに驚くほど日本語が上達し、学校の勉強にも熱心に取り組む姿に私たちは目を見張りました。

私が胸を打たれるのは、誰もが自分や家族が、日本の社会で一日も早く納得した生活が送れるようになりたいという強い意志が感じられることです。また今日の日本は「国際化・・・」と言い、世界とつながるために足りないこと、求められていることが何なのか、深く考えさせられます。<相澤記>

“プラス・ワン賛助会” 財政支援のお願い。

自主夜間中学あびこプラス・ワンは、皆様の財政支援による自主運営をめざしています。

会費は郵便振替で下記へお振込み下さい。

1年2千円(一口)です。

振込先 「あびこプラス・ワン賛助会」

加入者番号 00250-2-87357

(手数料のご負担、お願いします)

連絡先: 相澤 (あいざわ)

でんわ : 090-4240-1975

メール : aizy9242@yahoo.co.jp

ホームページ : abikoplus.web.fc2.com